

## 草原と岩稜で人気の峰を歩く

## 乾 徳 山 (上州武尊・赤城山変更)

実施日 2011年10月2日(日)  
 天 候 曇り一時晴れ  
 リーダー 涌井 良明  
 参加者 齋恵美子、福島政幸、涌井良明、島本陳重、鈴木恵美子、石附智江、宇野輝代、伊藤久雄、宮下良之、松丸恵美子 計10名  
 費用 交通費 JR2,220円(高尾駅起算) タクシ-1,880円 計4,100円  
 タイム 大平牧場登山口(9:25~9:35)国師ヶ原(10:35~10:40)月見岩(11:20~11:25)扇平(11:30~12:00)昼食(乾徳山頂(13:10~13:20)下山分岐(13:35)休憩(14:30~14:40)国師ヶ原(14:55)林道登山口(15:55)徳和BS(16:20)  
 データ 行動時間6h45m 積算距離8.93km 移動平均速度2.5km 総上昇量750m

タクシーを降りると、曇空、北風を感じるやや寒い大平牧場登山口だ。それでも歩き始めると徐々に汗ばんでも来る。林道を横切りながら緩めの傾斜で歩き易い登りを行く。一旦平らになると前方に山頂の盛り上がりも望めた。少し下って国師ヶ原だ、徳和ルート、道満尾根ルート(大平牧場)、水のタワルートと十字路になっている。



山頂へは徳和ルートで向かう、一面スキの原になっている登山道を登って行く、良い気分だスキの原は月見岩まで



続いた。扇平の樹林帯手前で昼食にした。時折陽はさすが北風は冷たく、山は冬に向かっているのだろう。食後山頂に向けて岩の多くなってきた道を行く、樹林の中大小の岩がばらまかれたような登り道だ、やがて最初の岩場が現れこれをバンドを伝って越す、続いて髭剃り岩とある岩を抜けると視界が開け、一気にアルペン気分になる。梯子で樹林に戻り鎖の下がる岩場を越す、次

に2本の鎖のある数メートルの壁を越していく。岩壁帯を抜けると山頂部が見えてくるが人の姿は見えず、空いているのは有難い。山頂の20メートル程のジェードル状になった岩が魅力なのだろう。



ラックに沿って体を支え、鎖を頼って途中から右の棚に移り、後は岩角や鎖を掛かりに登り山頂へ出る。展望は良いのだが今日は雲やガス

が垂れ込め遠望はあまり良くない。それでも頂での良いひと時になった、お決まりの集合や各自の写真撮影をして、次の再訪を思いつつ下山にかかる。

直ぐに梯子を下り岩道を進み、更に梯子の混じった下りを過ぎると、下山路の分岐になり下りになる、急な下り道は道型があまり



り明瞭ではないので、踏跡や赤布を見失わない様に注意する必要がある。道は下りと涸小沢を越したり左方へのトラバースを繰り返しながら高度を下げていく。薄暗く展望もない山腹道の下りで山頂部に比べ何とも味気ない道である。平坦になったところで親子連れの鹿を見た、直ぐに廃屋の高原ヒュッテを通過、その先で今朝通過した国師ヶ原に出た。

これで山頂部を周回したことになる。ここからは徳和ルートで下山する、歩き易くなった道を錦晶水、銀晶水の水場、カラマツ林の好ましい感じの道のある程度の速度で順調に下る。

1時間で登山口のある林道に下り着き、バス停に向かう。我々と頼んだタクシーがBSへほぼ同着のベストタイミングで塩山駅へ向かい山行は終了した。

秋晴れの歩きとはいかなかったが、山頂部の岩場も楽しめてそこそこ満足いただけたのではと思います。また機会があれば訪れるのも良い山だと思います。

(記&写真・涌井 良明)